

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

神奈川県横浜市 みなと赤十字病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	民間企業出身者
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	36	対象	透し未方	救臨が災地
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
3,735,843	74,148	非該当	7:1	

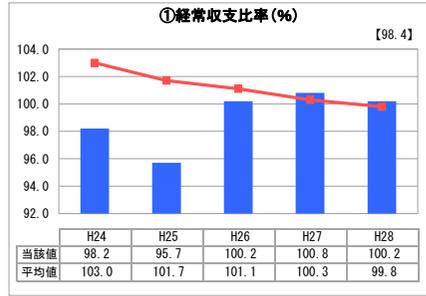
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

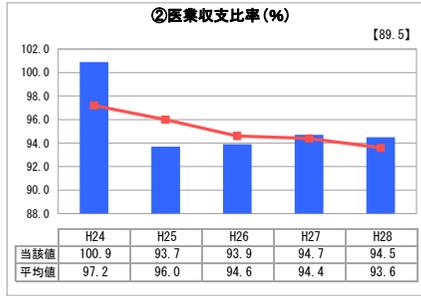
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
584	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
50	-	634
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
584	-	584

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

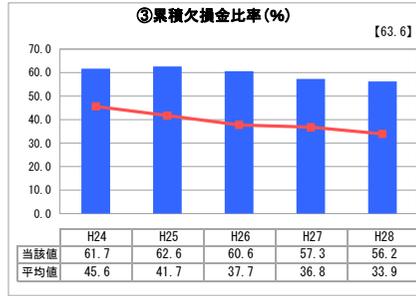
## 1. 経営の健全性・効率性



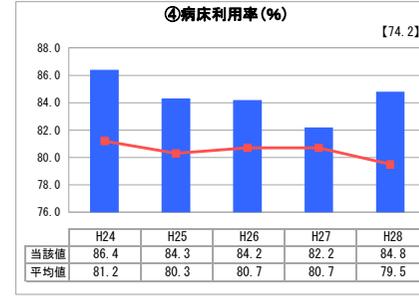
「経常損益」



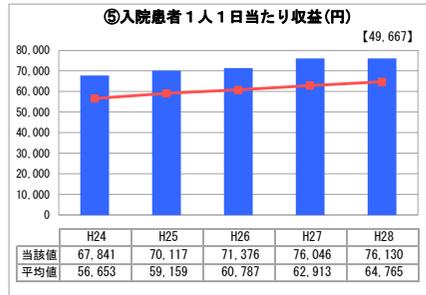
「医業損益」



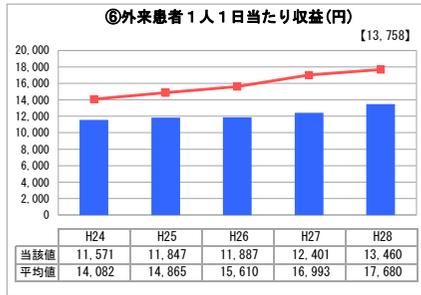
「累積欠損」



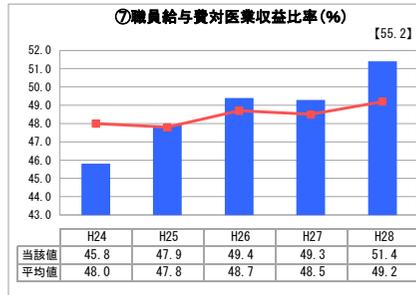
「施設の効率性」



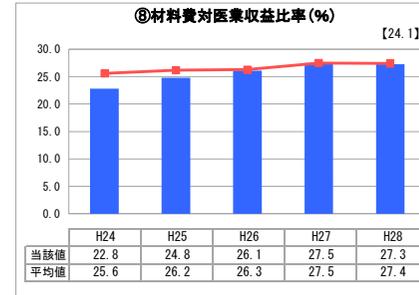
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

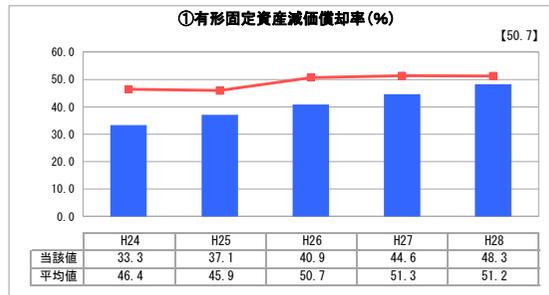


「費用の効率性①」

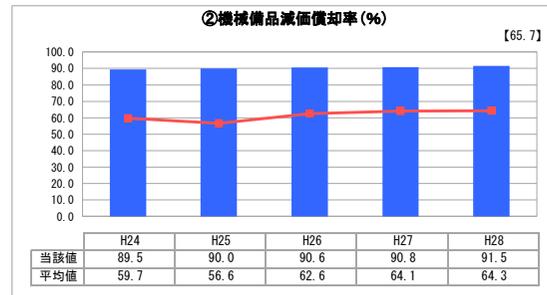


「費用の効率性②」

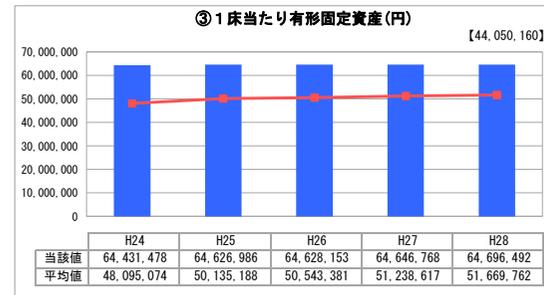
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

日本赤十字社を指定管理者とし、本市との協定に基づいて「救急」「精神科救急」「合併症医療」「アレルギー疾患」「災害時医療」などの政策的医療を安定的に提供しています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本経営指標は、横浜市のみなと赤十字病院にかかる決算と指定管理者側の決算を合算したものとされていますが、平成26年度以降3年連続で経常黒字を達成しています。「入院患者1人1日あたり収益」及び「外来患者1人1日あたり収益」も増加傾向にあることから、今後も健全な経営を保つためには、新規患者の獲得への取組みが重要となってきます。本市としましては、委託者として、指定管理者の取組みを注視してまいります。

### 2. 老朽化の状況について

施設全体の老朽化状況を示す「有形資産原価償却率」を見ると、平成28年度末で48.3%と平均値を上回っているものの早急な対応が必要という状況ではありません。その一方で、「機械備品減価償却率」を見ると、平成28年度末で91.5%となっており、機械備品の多くが一斉に耐用年数を迎える可能性があります。そのため、更新費用等が一時的にかさむ恐れがあることから、計画的な保全・更新に努め、現金支出の平準化を図っていく必要があります。

### 全体総括

平成28年度においては、3年連続の経常黒字を達成していますが、職員給与費が将来的に増加していくことや、平成31年10月より消費税率が上がることを考えると、引き続き積極的な経営改善に取組んでいく必要があります。本市としましては、指定管理者の動向を注視しながら、適切に評価・助言を行ってまいります。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。